

記載のしかた

- 1 この申告書は、原動機付自転車又は小型特殊自動車1台ごとに作成してください。
 - 2 「申告の理由」及び「種別」の各欄には、該当箇所の□（チェック欄）にレを記入してください。
なお、「種別」の欄については、該当箇所の□（チェック欄）のいずれか1つのみにレを記入してください。
 - 3 「廃車年月日」の欄には、納税義務が消滅した年月日を記入してください。
 - 4 「納税（申告）義務者」の欄の「住所又は所在地」には、都道府県、市町村名、番地まで記入してください。
また、納税義務者等がビル等に入居している場合又は同居人である場合には、ビル等の名称のほかに棟号数、室番号又は〇〇様方のように、郵便物が確実に届くように記入してください。
 - 5 「納税（申告）義務者」の欄には、所有者と使用者が同じである場合は、所有者欄のみを記入してください。
 - 6 「届出者」の欄には、申告書を提出される方が納税義務者でない場合に記入してください。
 - 7 「主たる定置場」の欄には、申告の際の主たる定置場が所有者の住所又は所在地と同じである場合は1を○で囲み、それ以外の場合は2の欄にその住所又は所在地を具体的に記入してください。
 - 8 特定原付の申告時のみ、「長さ」、「幅」及び「最高速度」の欄を記入してください。
また、標識番号の色については、「特」を○で囲んでください。
 - 9 「最高出力」の欄は、総排気量0.125L以下かつ最高出力4.0kW以下の一般原付の申告時のみ記入してください。
 - 10 「標識返納の有無」の欄には、標識の返納がある場合は「有」の□（チェック欄）にレを、標識の返納がない場合（譲渡先で継続使用する場合を除く。）は「無」の□（チェック欄）にレを、譲渡先で標識を継続して使用する場合は「譲渡先で継続使用」の□（チェック欄）にレを記入してください。
また、「無」に該当する場合については、その理由に該当する項目を○で囲み、具体的な理由を〔 〕内に記入してください。
「譲渡先で継続使用」に該当する場合については、この申告書とともに譲受の発生申告書（軽自動車税（種別割）申告（報告）書兼標識交付申請書）を提出してください。
 - 11 「盗難届出」の欄には、「申告の理由」又は「標識返納がない場合、その理由」欄において「盗難」に該当する場合に、その盗難を届け出た年月日、被害年月日、届出警察署及び受理番号を記入してください。
- この申告書はボールペンで記載してください。
なお、温度変化により無色になるインキを用いたボールペンは使用しないでください。